# 型枠材を積込中、トラックのアオリから墜落

**墜落転落ー５**

| 災害発生時記録 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生月日　時 | 7月　23日（木）　15時　10分 | 工事内容 | SRC2階建店舗建築工事 | | | | |
| 被災者 | 職種 | 運転手 | 経験年 | 26 | 所属 | 元請　　直営　　○1次会社　　1人親方　　請負外契約 | |
| 被災程度 | 左足踵骨折 | | | | | | |

**災害発生状況（写真）**

被災者は解体した型枠材をユニック車で会社の資材置き場にへ運搬する作業を行っていた。 午前中に一回目の運搬を終え、15時頃から二回目の積み込み作業を行っていた。 積み込みを終え、ワイヤーで固定したが一部角材が極端に飛び出していたため、積直そうと相手方ワイヤーを緩めるよう指示して被災者はアオリに上がった。2本目のワイヤーを緩めた時、突然角材が崩れてきたため被災者は、それを避けようとアオリから飛び降りるようなかたちで墜落した。

**初期の対策状況含む事項(写真含)**

足から着地したため踵の骨にひびが入ったが損傷部位をギブスで固定するだけの治療するだけの治療で済んだため3日間休業した後、補助者を付け運転業務に復帰した。

| 番号 | 災害発生要因 | 人的要因 | 物的要因 | 管理的要因 | 同種工事の再発防止対策 | コメント(追記・確認すべき事項) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 時間が遅かったため焦って積み込み作業を行ったこと。（時間が遅くなると資材置き場は閉まってしまう） | ○ | | ○ | 事前に資材置き場に連絡を入れ、遅くなった場合の対応を確認するよう指示を徹底。 | トラック荷台からの、墜落事故は非常に多い。荷台の高さは1．2m程度だが資材の上に乗ると2mを越える場合がある。2mを越えると高所作業になり法令で墜落防止の義務が発生してくるので充分、注意すること。 |
| 2 | ワイヤーを緩める前にアオリに上がったこと | ◎ | | ○ | ワイヤーを緩めても積荷が崩れないことを確認してから作業に入るよう教育を実施。 | |

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）